

平成22年第1回小金井市教育委員会臨時会議事日程

平成22年4月1日(木)

午後1時03分開会

開催日時	平成22年4月1日	開会 1時03分 閉会 1時23分	
場 所	小金井市役所第五会議室		
出席委員	委員長 伊藤 恒子 委員長職務代理者 鮎川志津子 委員 高木 裕	委員 宮本 誠 教育長 向井 一身	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 小林 美都江 生涯学習部長 渡辺 博 庶務課長 鈴木 遵矢 学務課長 前島 賢 指導室長 豊岡 弘敏 指導室長補佐 神田 恭司 指導主事 浜田 真二 指導主事 高橋 良友	生涯学習課長 尾崎 充男 兼生涯学習係長事務取扱 スポーツ振興 宮腰 誠 担当課長 図書館長 田中 肇 公民館長 大関 勝広 庶務課長補佐 高橋 正恵 兼庶務係長	
調 製	玉井 奈保子		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	選 第 1 号	小金井市教育委員会委員長の選挙について
第 3	選 第 2 号	小金井市教育委員会委員長職務代理者の指定について
第 4	協 議 第 1 号	小金井市教育委員会の議席について

伊藤委員 ただいまから平成22年第1回小金井市教育委員会臨時会を開会する。

本日の議事進行についてであるが、委員長である私の任期が3月31日をもって満了している。

小金井市教育委員会規則第4条の規定により、年長者の委員が委員長の職務を行うことになっているので、私が議事を進行する。

また、菊地前委員長職務代理者の後任の委員として、宮本誠委員が3月27日の市議会本会議において任命の同意が得られ、本日、市長から教育委員会委員の任命を受けたので、ここにご報告させていただきます。

日程第1、会議録署名委員の指名を議題とする。本日の会議録署名委員は、鮎川委員と高木委員にお願いする。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊藤委員 日程第2、選第1号、小金井市教育委員会委員長の選挙についてを議題とする。

提案理由につき、ご説明いただく。

向井教育長 平成22年3月31日付けで伊藤委員長の任期が満了したことに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項の規定に基づき、委員長を選挙する必要があるため、本案を提出するものである。

なお、委員長の任期は、同法第12条第2項の規定により、本日から平成23年3月31日までの1年間となる。

よろしく願います。

伊藤委員 選挙の方法についてご意見をいただきたいと思う。いかがか。

向井教育長 従前、指名推選の方法で決定した経緯がある。今回も指名推選の方法でいかがかと思う。

伊藤委員 皆さん、いかがか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員           では、異議なしと認め、指名推選の方法で決定する。  
どなたか推薦者を挙げていただけるか。

向井教育長       私は、伊藤恒子委員を推薦したいと思っている。伊藤委員は、平成14年4月1日より教育委員会委員に就任され、平成21年7月14日から平成22年3月31日まで委員長の職にあつて、教育委員の活動において中心的な役割を担っていただいたところである。本市の実情に応じた施策を策定し、推進することに当たり、教育委員会の委員長として伊藤恒子委員が適任と考えられるので、ご推薦申し上げたいと思っている。

伊藤委員           ただいま伊藤恒子に推薦いただいたが、皆様のご意見はいかがか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長       では、再選をいただいたので、引き続き伊藤恒子が引き受けさせていただきますこととする。

向井教育長       申しわけないが、ごあいさつをよろしく願います。

伊藤委員長       ただいま皆様からご推薦、そしてご賛同をいただき、委員長を引き受けることになった。つたない者であるが、全力を挙げて頑張るのでよろしく願います。

こうして皆様の顔ぶれを拝見させていただくと、教育委員もさま変わりした。新しく皆様をお迎えして、そのことだけでも新しい教育が始まるのだと感じさせていただいている。

私も、教育委員として3期目、また、委員長としては2期目とさせていただいている。今までの委員長、故中村幸之助様、倉田照子委員長、伊東浄堯委員長、それぞれのなされたお仕事を考えてみると、その責の重さに心震える思いがするが、皆様のご推挙を大事にして務めさせていただくつもりでいる。

新しく教育委員になられた宮本委員、また、鮎川委員、高木委員からは、時代に即した視点や知識、経験により、これからもぜひ忌憚のないご意見、ご提案をいただくとともに、各方面の大勢の方々からのご協力をいただき、小金井の教育の発展のために皆さんで力を一緒にして頑張ってもらいたいと思っている。

さて、平成22年度の教育委員会の各課の事業について、先日、事務局からの予算概要説明により、一定の理解を得たところであるが、学校教育分野においては、教育基本法の改定に基づいた教育振興基本計画の策定に向けての取り組み、児童・生徒が安全に一日を過ごすことのできる教育環境の整備、新学習指導要領に示されている新しい教育課程並びに本年度は教科書の選定もある。

また、生涯学習分野においては、中近東センター連携事業、市史編さん事業等への取り組み着手、また、市民生涯学習の拠点となる貫井北町センター建設事業の着手など、教育委員会が取り組む課題、目標は山積している。

これらの事業を推進していくために、教育委員の皆さんと事務局、そして学校教育部と生涯学習部の連携が不可欠である。

最後になるが、教育委員の皆様、また、事務局職員の皆様、今から読み上げる小金井市教育委員会の教育目標、子どもたちが幅広い知識と教養を身につけるとともに、道徳心にあふれた、健康で人間性豊かに成長することを願い、自他の生命と人格を尊重し、礼儀正しく思いやりのある人、社会のルールを身につけ、社会貢献に努める人、みずから学び考え続ける、個性と創造力豊かな人の育成に向けた教育を推進する。また、すべての市民が生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合い、互いに高め合うことを目指していく。そして、学校、家庭及び地域のそれぞれが役割と責任を果たしながら、相互の連携と協力による教育を推進するという目標を再認識し、一つ一つそれに向けた事業を具体的に進めていくことによって、小金井市の教育のさらなる発展のために、今後ともそれぞれの立場でそれぞれの力を発揮して、仲よく、しかも前進あるのみの心で頑張ってもらいたいと思っている。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

引き続き議事の進行を行う。

日程第3、選第2号、小金井市教育委員会委員長職務代理者の指定についてを議題とする。

向井教育長 提案理由についてご説明する。  
平成22年3月31日付けで菊地委員長職務代理者の任期が満了したに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項の規定に基づき、委員長職務代理者を指定する必要があるため、本案を提出するものである。

伊藤委員長 説明が終わった。  
指定の方法についてご意見はあるか。

向井教育長 従前、指名推選の方法で決定した経緯がある。今回も指名推選の方法でいかがかと思う。

伊藤委員長 いかがか。  
  
(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 では、指名推選の形で行いたいと思う。  
どなたかご意見はあるか。

向井教育長 私は、鮎川志津子委員を推薦したいと思っている。  
現在、伊藤委員長に次ぐ、教育委員としての実績、経験をお持ちの鮎川委員に職務代理者として委員長を補佐していただきたいと考えている。

伊藤委員長 いかがか。  
  
(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 他にご意見がないので、鮎川委員を委員長職務代理者に指名し、お願いしたいと思う。

鮎川委員長  
職務代理者 よろしくお願ひする。

伊藤委員長 よろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 では、よろしくお願い申し上げます。  
鮎川委員、ごあいさつをお願いします。

鮎川委員長 委員長職務代理者を仰せつかった鮎川である。  
職務代理者 若輩でありながら、また、教育委員となってから、まだ1年と数カ月という大変短い時間であり、私自身が感じるよりも、皆様のほうが大変ご不安に感じていらっしゃると思う。私のような未熟な者をも育ててくださるという小金井市教育委員会の大きな器に心から感謝しつつ、それに甘えることなく精一杯頑張っていきたいと思う。これからもよろしくお願いする。

伊藤委員長 よろしくをお願いします。  
日程第4、協議第1号、小金井市教育委員会の議席についてを議題とする。

議席については、委員長が議席番号1、委員長から見て左側が議席番号2、委員長職務代理者の席、委員長から見て右側が議席第3、委員長職務代理者の隣が第4、教育長の席が議席番号5となる。

先ほど委員長職務代理者が決定したので、現在のままでいいということであるか。今のままで席が決まるということでもいいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 異議なしと認める。それでは、議席番号2が鮎川委員、議席番号3が高木委員、議席番号4が宮本委員でお願いします。どうぞよろしくお願いする。

本日の議事はすべて終了した。これをもって平成22年小金井市第1回教育委員会臨時会を閉会させていただく。

閉会 午後1時18分